太陽（2015）

メディア 映画
ジャンル ドラマ　ＳＦ　青春
製作国 日本
色彩 Color
時間 129分
初公開日 2016/04/23
公開情報 KADOKAWA
映倫 PG12

【キャッチコピー】
人は選ぶのか、
選ばれるのか

【解説】
　前川知大が主宰する劇団イキウメの同名舞台劇を「ＳＲ　サイタマノラッパー」「ジョーカー・ゲーム」の入江悠監督が映画化した近未来ＳＦドラマ。バイオテロで人口が激減した近未来の日本を舞台に、進化した新人類と抑圧される旧人類が共存する社会で繰り広げられる若者たちの葛藤と青春模様を綴る。主演は「バクマン。」の神木隆之介と「愛の渦」の門脇麦。
　21世紀初頭の日本。バイオテロによる謎のウイルスの拡散で世界の人口は激減し、生き残った人類はウイルスの感染を克服した新人類と旧人類に２分した。新人類は“ノクス”と呼ばれ、心身共に進化し高度な社会を構築するが、太陽の下では生きられないという弱点を抱えていた。一方、“キュリオ”と呼ばれる旧人類は、太陽の下で自由に生きられるものの、ノクスに管理され、貧しい生活を強いられていた。20歳までの若者にはノクスへの転換手術を受けられるチャンスがあったが、ある時、キュリオの暮らす村でノクスが惨殺される事件が起こり、その村では厳しい経済封鎖を受けるとともに、転換のチャンスも奪われてしまう。それから10年、キュリオの青年・奥寺鉄彦は、村での鬱屈した生活にやり場のない怒りを抱える日々。その幼なじみの生田結は、かつて母親が自分と父を捨ててノクスに転換したことでノクスへの憎しみを募らせていた。そんな中、10年ぶりに経済封鎖が解かれ、ノクスへの転換手術の募集も再開される。ノクスに憧れる鉄彦はすぐさま応募し、期待に胸を膨らませるのだったが…。

【クレジット】

監督	入江悠
製作	畠中達郎
	井上伸一郎
エグゼクティブプロデューサー	原田知明
	堀内大示
プロデューサー	遠藤日登思
	小林剛
	澤岳司
ラインプロデューサー	佐藤圭一朗
原作	前川知大
脚本	入江悠
	前川知大
ＣＧプロデューサー	鈴木伸広
ＣＧディレクター	土井淳

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.

撮影	近藤龍人		
美術	古積弘二		
音響効果	渋谷圭介		
	佐藤祥子		
音楽	林祐介		
音楽プロデューサー	和田亨		
照明	藤井勇		
装飾	鈴村高正		
録音	小宮元		
スタイリスト	纐纈春樹		
ヘアメイク	望月志穂美		
助監督	松尾崇		
出演	神木隆之介		奥寺鉄彦
	門脇麦		生田結
	古川雄輝		森繁富士太
	綾田俊樹		
	水田航生		
	森口瑤子	Youko Moriguchi	曽我玲子
	高橋和也		
	木原勝利		
	山田日向		
	渡邉空美		
	関根航		
	村上淳		奥寺克哉
	中村優子		
	古舘寛治		生田草一
	鶴見辰吾		曽我征治

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.